

住宅の気密性能試験結果 (1)

申 込 者	会社名又は氏名	真庭市役所 建設部 都市住宅課
	住所	岡山県真庭市久世2977番地2

測定対象建物の概要		
建物の名称	真庭市営CLT春日住宅（1階）	
所在地	岡山県真庭市月田1997-2、1996一部	
竣工年月日	2015年 3月 10日	
構造及び工法	CLT壁式工法一部在来木造	
建物の規模	地階床面積	0.00 m ²
	1階床面積	88.00 m ²
	2階床面積	88.00 m ²
	3階床面積	105.06 m ²
	延べ面積	281.06 m ² … (A)
開口部の仕様	窓……………アルミ（引違い、上げ下げ、滑り出し） 玄関扉………片開き	
主な部位の気密層の使用	内装材、その他気密補助材	
建物概要図	別紙添付図面通り。	
通気量を測定した位置	添付平面図（⇒）に示す。	

測定時の建物条件				
	部位	方法	確認	特記事項
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック（施錠）だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	—	テープで目張り
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉又は目張り	○	目張り
7	台所レンジファン	シャッター閉又は目張り	○	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉又は目張り	○	目張り
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉又は目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	封水
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理又は目張り	なし	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし	
測定対象外にした部分（空間）の名称		1階MB、下がり天井部分（1.57㎡）、2階、3階		
同上で延べ床面積（A）に含まれる床面積		195.2 ㎡ … （B）		
吹抜け・床下・小屋裏など測定対象の相当床面積		㎡ … （C） （床下あり）		
測定対象とした建物の実質延べ床面積（S）		S＝（A）－（B）＋（C）＝ 85.86 ㎡		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付すこと。

住宅の気密性能試験結果 (2)

真庭市営CLT春日住宅 (1階)

測定者・測定方法・測定装置								
事業所	ハウスプラス中国住宅保証株式会社	事業所登録番号	1379	技能者	五百川 大樹	登録番号	07071-17	
所在地	広島県広島市中区国泰寺町1丁目3番32号国泰寺ビル3階						電話 082-577-7712	
測定方法	JISA2201（送風機による住宅等の気密性能試験方法）による。 流量及び圧力の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った。							
測定装置	気密測定器KNS-4000II型/コーナ-札幌株式会社							

試験日時	2015年3月13日 15時30分 ~ 16時00分		
測定時の環境	天候	晴れ	
	室内温度	10.4℃	
	外気温度	11.0℃	

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: ΔP (Pa)	10.6	21.7	29.1	40.1	49.0					
通気量: Q (m³/h)	339	488	669	825	915					

隙間特性値: n ($1 \leq n \leq 2$)	$n = 1.47$
通気率 ($\Delta P = 1$ Pa時の通気量): a	$a = 65.1 \text{ m}^3/\text{h} \cdot \text{Pa}^{\frac{1}{n}}$
$\Delta P = 9.8$ Paにおける通気量: $Q_{9.8}$	$Q_{9.8} = 308.7 \text{ m}^3/\text{h}$
係数: b	$b = 0.627 \text{ Pa}^{\frac{1}{n}} = 0.700$
総相当隙間面積: αA (cm²)	$\alpha A = Q_{9.8} \times b = 216 \text{ cm}^2$
相当隙間面積: C (cm²/m²)	$C = \alpha A / S = 216 \div 85.86 = 2.5 \text{ cm}^2/\text{m}^2$

測定結果添付欄 (データNo. 0001)

2015年03月13日 データNo. 0001

モード: セミオート測定 (減圧法)

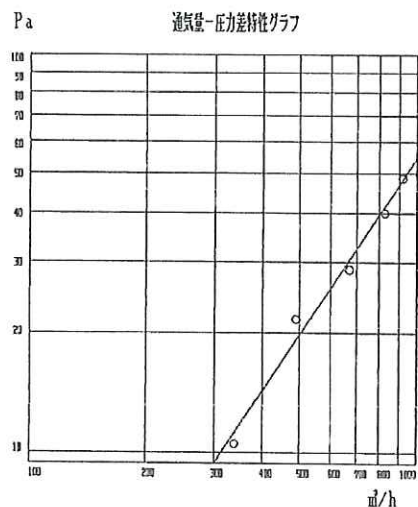
総相当隙間面積: $\alpha A = 216 \text{ cm}^2$
 隙間特性値: $n = 1.47$
 通気率 ($\Delta P = 1$ Pa時の通気量): $a = 65.1$
 $\Delta P = 9.8$ Paにおける通気量: $Q_{9.8} = 308.7 \text{ m}^3/\text{h}$

室内温度: 10.4℃ 係数 (b): 0.700
 外気温度: 11.0℃

測定パラメータ

圧力差 10.6 Pa 通気量 339 m³/h
 圧力差 21.7 Pa 通気量 488 m³/h
 圧力差 29.1 Pa 通気量 669 m³/h
 圧力差 40.1 Pa 通気量 825 m³/h
 圧力差 49.0 Pa 通気量 915 m³/h

50.0 Pa時の測定流量: 930 m³/h



* (参考) データがある場合は記入する。



写真：01_測定装置設置状況

1階 リビングに設置



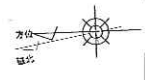
写真：02_リビング 換気レジスター目張り状況



写真：03_便所 換気扇目張り状況



写真：04_床下点検口目張り状況



外壁凡例

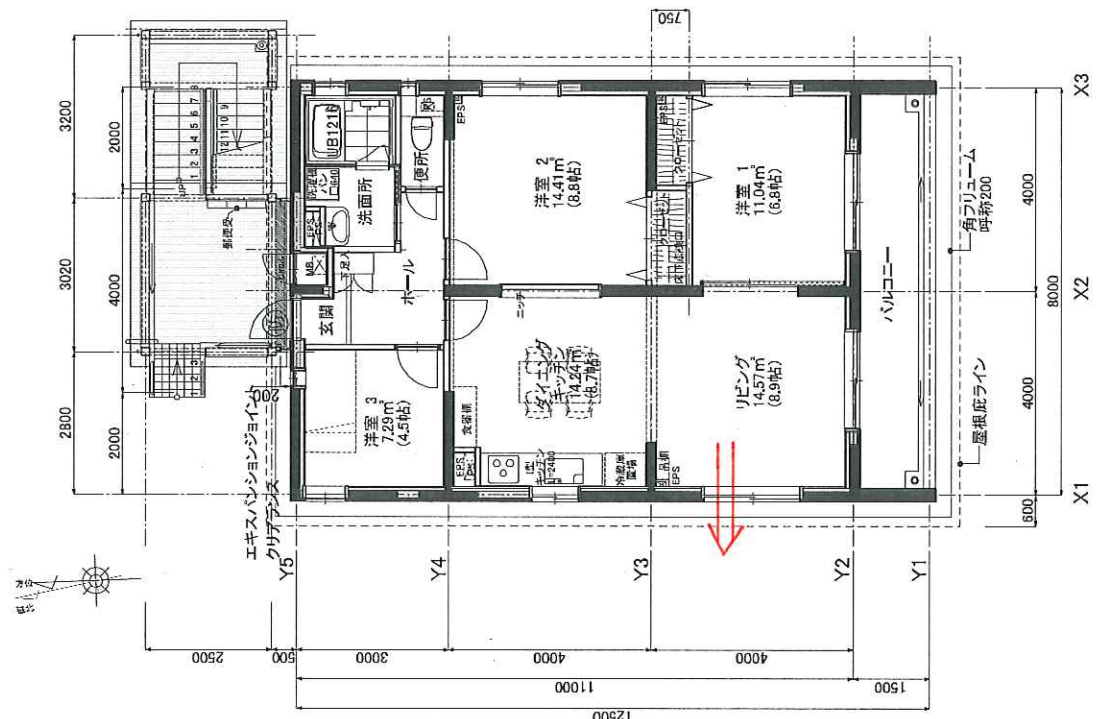
- 外壁仕上
- CLT 厚150
- サッコウボード 厚12.5×2 (ガラスウール 18K 厚50)
- 外壁仕上
- 木造軸組工法 (断熱材 グラスウール 18K 厚100)
- サッコウボード 厚12.5×2 (ガラスウール 18K 厚50)
- 外壁仕上
- CLT 厚150
- 外壁仕上

一般壁凡例

- 内壁仕上
- サッコウボード 厚12.5×2
- CLT 厚150
- サッコウボード 厚12.5×2
- 内壁仕上
- サッコウボード 厚12.5×2
- 木造軸組工法 (断熱材 グラスウール 18K 厚100)
- サッコウボード 厚12.5×2
- 間仕切壁 間柱45×90

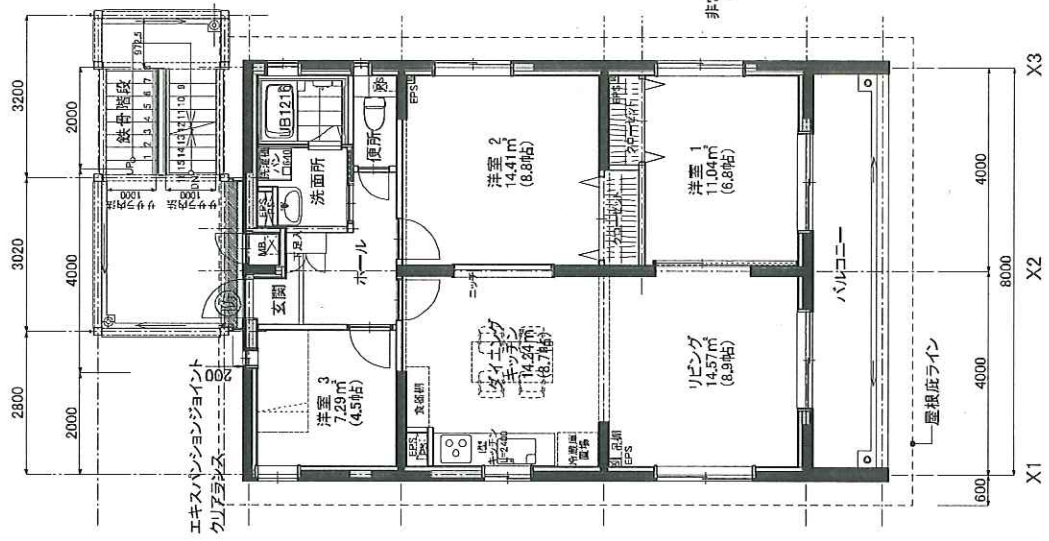
凡例

- 防火設備
- 非常用出入口に代わる窓



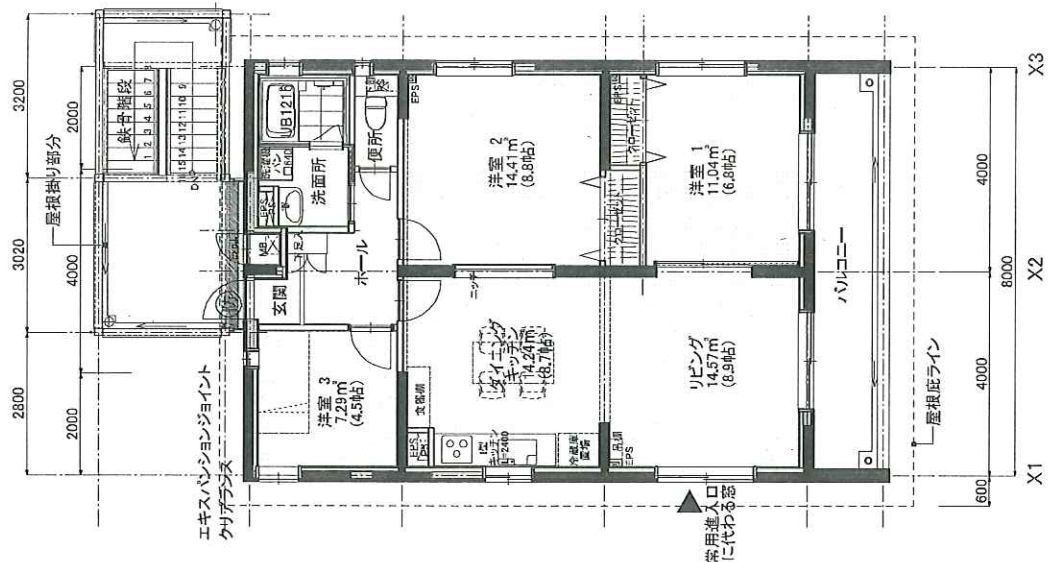
1階平面図 1/100

3LDKプラン



2階平面図 1/100

3LDKプラン



3階平面図 1/100

3LDKプラン

住宅の気密性能試験結果 (1)

申 込 者	会社名又は氏名	真庭市役所 建設部 都市住宅課
	住所	岡山県真庭市久世2977番地2

測定対象建物の概要		
建物の名称	真庭市営CLT春日住宅（2階）	
所在地	岡山県真庭市月田1997-2、1996一部	
竣工年月日	2015年 3月 10日	
構造及び工法	CLT壁式工法一部在来木造	
建物の規模	地階床面積	0.00 m ²
	1階床面積	88.00 m ²
	2階床面積	88.00 m ²
	3階床面積	105.06 m ²
	延べ面積	281.06 m ² … (A)
開口部の仕様	窓……………アルミ（引違い、上げ下げ、滑り出し） 玄関扉……片開き	
主な部位の気密層の使用	内装材、その他気密補助材	
建物概要図	別紙添付図面通り。	
通気量を測定した位置	添付平面図（⇒）に示す。	

測定時の建物条件				
	部位	方法	確認	特記事項
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック（施錠）だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉又は目張り	○	目張り
7	台所レンジファン	シャッター閉又は目張り	○	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉又は目張り	○	目張り
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉又は目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	封水
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理又は目張り	なし	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし	
測定対象外にした部分（空間）の名称		1階、2階MB、下がり天井部分（1.57㎡）、3階		
同上で延べ床面積（A）に含まれる床面積		195.2 ㎡ … （B）		
吹抜け・床下・小屋裏など測定対象の相当床面積		㎡ … （C） （床下あり）		
測定対象とした建物の実質延べ床面積（S）		S = (A) - (B) + (C) = 85.86 ㎡		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付すこと。

住宅の気密性能試験結果 (2)

真庭市営CLT春日住宅 (2階)

測定者・測定方法・測定装置								
事業所	ハウスプラス中国住宅保証株式会社	事業所登録番号	1379	技能者	五百川 大樹	登録番号	07071-17	
所在地	広島県広島市中区国泰寺町1丁目3番32号国泰寺ビル3階					電話 082-577-7712		
測定方法	JISA2201（送風機による住宅等の気密性能試験方法）による。 流量及び圧力の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った。							
測定装置	気密測定器KNS-4000II型/コーナー札幌株式会社							

試験日時	2015年3月13日 14時30分 ~ 15時00分			
測定時の環境	天候	晴れ		
	室内温度	10.5℃		
	外気温度	14.3℃		

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: ΔP (Pa)	12.0	19.5	31.2	40.6	48.3					
通気量: Q (m ³ /h)	129	128	249	287	311					

隙間特性値: n ($1 \leq n \leq 2$)	$n = 1.23$
通気率 ($\Delta P = 1$ Pa時の通気量): a	$a = 14.1 \text{ m}^3/\text{h} \cdot \text{Pa}^{-1/n}$
$\Delta P = 9.8$ Paにおける通気量: $Q_{9.8}$	$Q_{9.8} = 90.1 \text{ m}^3/\text{h}$
係数: b	$b = 0.627 \text{ Pa}^{-1/n} = 0.696$
総相当隙間面積: αA (cm ²)	$\alpha A = Q_{9.8} \times b = 63 \text{ cm}^2$
相当隙間面積: C (cm ² /m ²)	$C = \alpha A / S = 63 \div 85.86 = 0.7 \text{ cm}^2/\text{m}^2$

測定結果添付欄 (データNo. 0001)

2015年03月13日 データNo. 0001
モード: セミオート測定 (換気法)

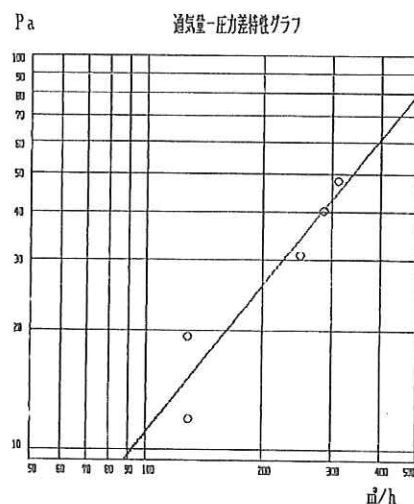
総相当隙間面積: $\alpha A = 63 \text{ cm}^2$
隙間特性値: $n = 1.23$
通気率 ($\Delta P = 1$ Pa時の通気量): $a = 14.1$
 $\Delta P = 9.8$ Paにおける通気量: $Q_{9.8} = 90.1 \text{ m}^3/\text{h}$

室内温度: 10.5℃ 係数 (b): 0.696
外気温度: 14.3℃

測定パラメータ

圧力差 12.0 Pa 通気量 129 m³/h
圧力差 19.5 Pa 通気量 128 m³/h
圧力差 31.2 Pa 通気量 249 m³/h
圧力差 40.6 Pa 通気量 287 m³/h
圧力差 48.3 Pa 通気量 311 m³/h

50.0 Pa時の推定流量: 339 m³/h



* (参考) データがある場合は記入する。

住宅の気密性能試験結果 (3)

真庭市営CLT春日住宅(2階)



写真：01_測定装置設置状況

2階 リビングに設置



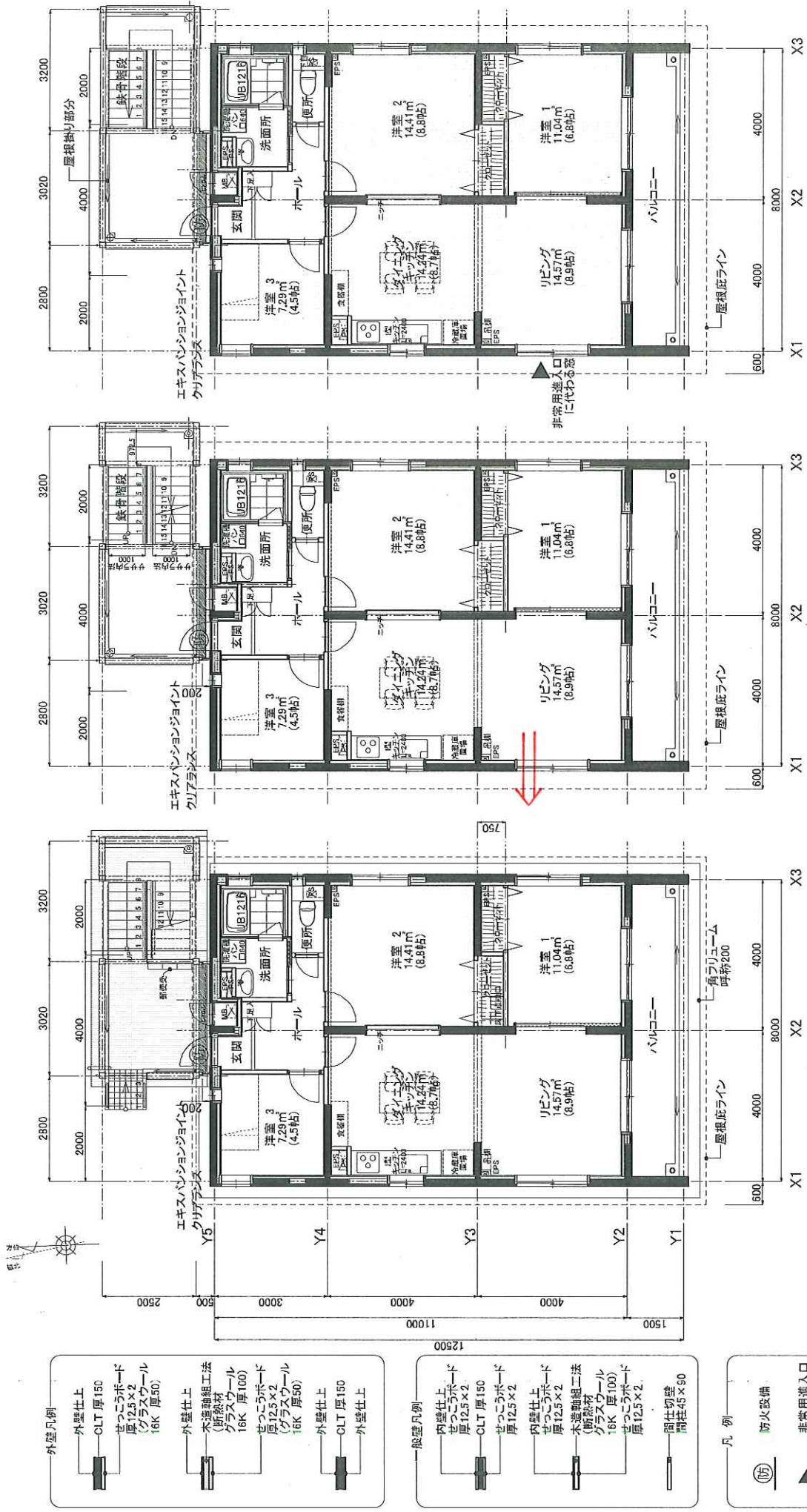
写真：02_リビング 換気レジスター目張り状況



写真：03_便所 換気扇目張り状況



写真：04_浴室 換気扇目張り状況



1階平面図 1/100
 3LDKプラン

2階平面図 1/100
 3LDKプラン

3階平面図 1/100
 3LDKプラン

住宅の気密性能試験結果 (1)

申 込 者	会社名又は氏名	真庭市役所 建設部 都市住宅課
	住所	岡山県真庭市久世2977番地2

測定対象建物の概要		
建物の名称	真庭市営CLT春日住宅(3階)	
所在地	岡山県真庭市月田1997-2、1996一部	
竣工年月日	2015年 3月 10日	
構造及び工法	CLT壁式工法一部在来木造	
建物の規模	地階床面積	0.00 m ²
	1階床面積	88.00 m ²
	2階床面積	88.00 m ²
	3階床面積	105.06 m ²
	延べ面積	281.06 m ² … (A)
開口部の仕様	窓……………アルミ(引違い、上げ下げ、滑り出し) 玄関扉……片開き	
主な部位の気密層の使用	内装材、その他気密補助材	
建物概要図	別紙添付図面通り。	
通気量を測定した位置	添付平面図(⇒)に示す。	

測定時の建物条件				
	部位	方法	確認	特記事項
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック（施錠）だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱して いる地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉又は目張り	○	目張り
7	台所レンジファン	シャッター閉又は目張り	○	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉又は目張り	○	目張り
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉又は目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	封水
11	集中換気システムの給排気 ダクトの屋外側出入口	テープ処理又は目張り	なし	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし	
測定対象外にした部分（空間）の名称		1階、2階、3階MB、下がり天井部分（1.57㎡）		
同上で延べ床面積（A）に含まれる床面積		195.2 ㎡ … （B）		
吹抜け・床下・小屋裏など測定対象の相当床面積		㎡ … （C） （床下あり）		
測定対象とした建物の実質延べ床面積（S）		S＝（A）－（B）＋（C）＝ 85.86 ㎡		

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付すこと。

住宅の気密性能試験結果 (2)

真庭市営CLT春日住宅 (3階)

測定者・測定方法・測定装置							
事業所	ハウスプラス中国住宅保証株式会社	事業所登録番号	1379	技能者	五百川 大樹	登録番号	07071-17
所在地	広島県広島市中区国泰寺町1丁目3番32号国泰寺ビル3階						電話 082-577-7712
測定方法	JISA2201 (送風機による住宅等の気密性能試験方法) による。 流量及び圧力の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った。						
測定装置	気密測定器KNS-4000II型/コーナー札幌株式会社						

試験日時	2015年3月13日 13時30分 ~ 14時00分			
測定時の環境	天候	晴れ		
	室内温度	12.0℃		
	外気温度	14.7℃		

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: ΔP (Pa)	9.6	20.5	30.0	40.3	49.7					
通気量: Q (m ³ /h)	126	227	279	334	390					

隙間特性値：n（1≤n≤2）	n =	1.48			
通気率（△P=1Pa時の通気量）：a	a =	27.9	m ³ /h・Pa ^{$\frac{1}{n}$}		
△P=9.8Paにおける通気量：Q _{9.8}	Q _{9.8} =	130.9	m ³ /h		
係数：b	b = 0.627 ρ ^{$\frac{1}{2}$} =	0.696			
総相当隙間面積：αA（cm ² ）	αA = Q _{9.8} ×b =	91	cm ²		
相当隙間面積：C（cm ² /m ² ）	C = αA/S =	91	÷	85.86	= 1.0 cm ² /m ²

測定結果添付欄 (データNo. 0001)

2015年03月13日 データNo. 0001
モード: セミオート測定 (減圧法)

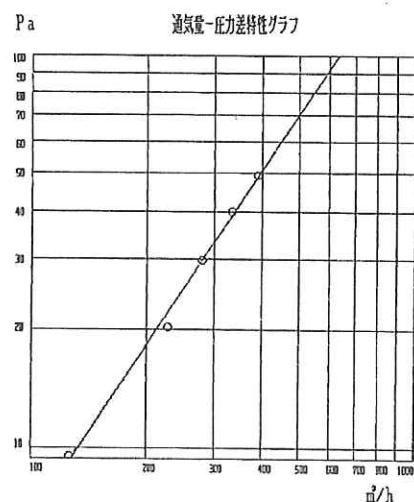
総相当隙間面積: $\alpha A = 91$ cm²
隙間特性値: $n = 1.48$
通気率 ($\Delta P=1$ Pa時の通気量): $a = 27.9$
 $\Delta P=9.8$ Paにおける通気量: $Q_{9.8} = 130.9$ m³/h

室内温度: 12.0℃ 係数 (b): 0.696
外気温度: 14.7℃

測定パラメータ

圧力差 9.6 Pa 通気量 126 m³/h
圧力差 20.5 Pa 通気量 227 m³/h
圧力差 30.0 Pa 通気量 279 m³/h
圧力差 40.3 Pa 通気量 334 m³/h
圧力差 49.7 Pa 通気量 390 m³/h

50.0 Pa時の測定流量: 395 m³/h



* (参考) データがある場合は記入する。



写真：O1_測定装置設置状況

3階 リビングに設置



写真：O2_リビング 換気レジスター目張り状況



写真：O3_便所 換気扇目張り状況



写真：O4_浴室 換気扇目張り状況



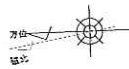
株式会社日本システム設計

事務所 東京都中央区新富町一丁目1番1号 日本システム設計ビル 5F
TEL 03-5561-0011 FAX 03-5561-0012
〒103-0013 東京都中央区新富町一丁目1番1号

真庭市営 OLT 春日住宅新築工事

平面図

縮尺 1/100
図面番号 D-07



外壁凡例

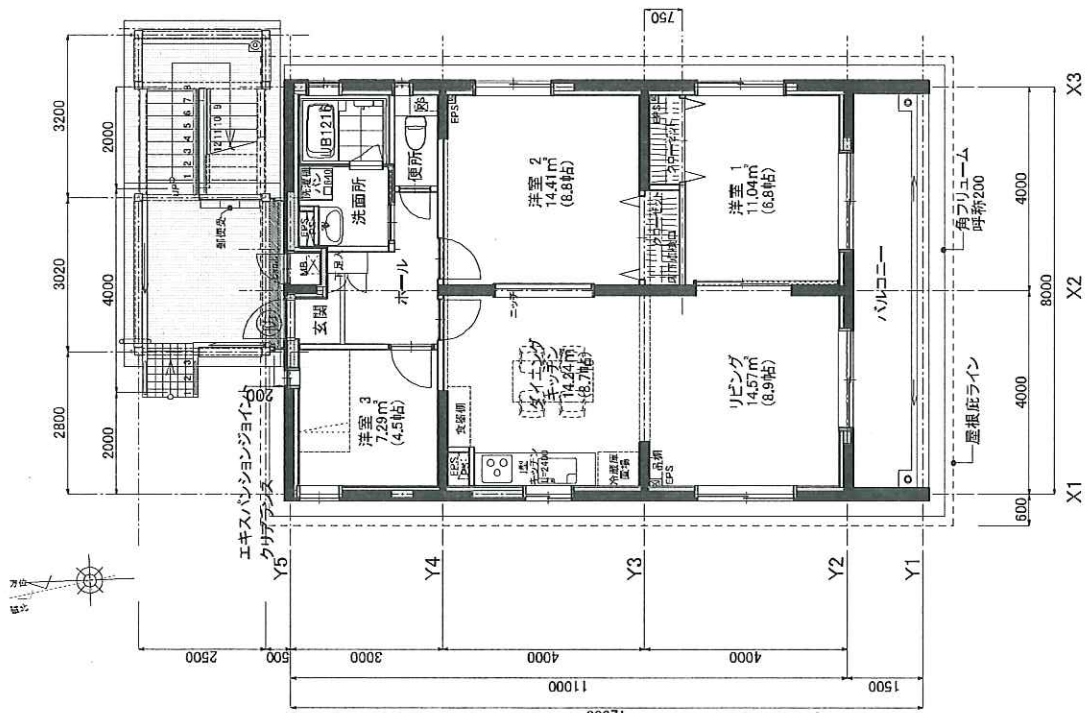
- 外壁仕上: OLT 厚150
- せつこうボード 厚125×2
- 断熱材 (グラスウール 16K 厚50)
- 外壁仕上: 木造軸組工法
- 断熱材 (グラスウール 16K 厚100)
- せつこうボード 厚125×2
- 断熱材 (グラスウール 16K 厚50)
- 外壁仕上: OLT 厚150
- 外壁仕上

内装壁凡例

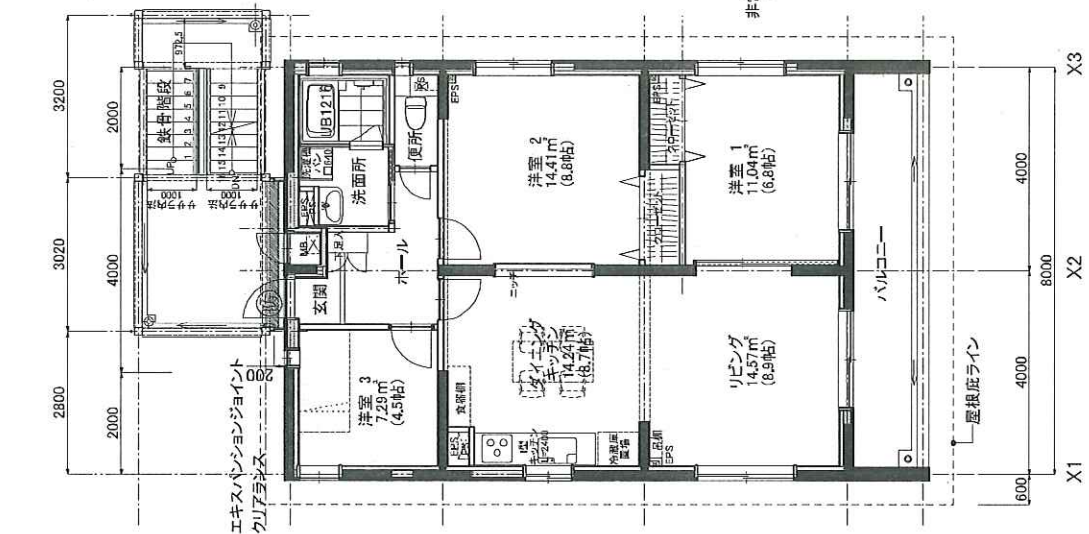
- 内装仕上: せつこうボード 厚125×2
- 断熱材 (グラスウール 16K 厚50)
- 内装仕上: OLT 厚150
- せつこうボード 厚125×2
- 断熱材 (グラスウール 16K 厚100)
- 木造軸組工法
- 断熱材 (グラスウール 16K 厚50)
- せつこうボード 厚125×2
- 内装仕上: 間仕切壁 間柱45×80

凡例

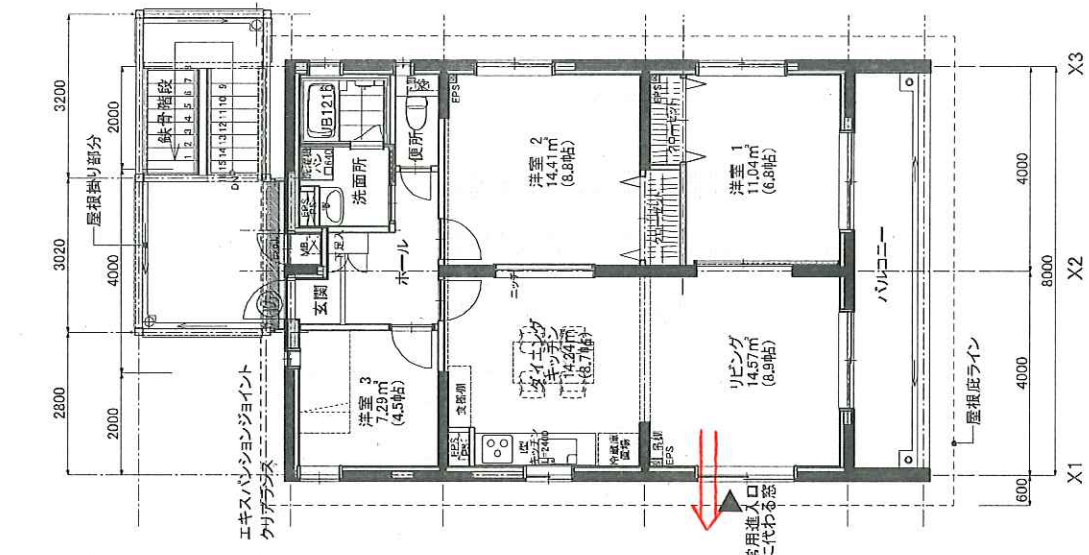
- 防火設備
- 非常用進入口に代わる窓



1階平面図 1/100
3LDKプラン



2階平面図 1/100
3LDKプラン



3階平面図 1/100
3LDKプラン